

なが"じんまが"じん^{Vol.}112

腎臓病専門施設である長崎腎病院・クリニック広報誌

Take free

- ◆新年のご挨拶
- ◆教えて先生：シャントについて
- ◆在宅透析：快適に生活するための選択肢を
- ◆安全管理：職場の心理的安全性
- ◆TOPICS: シン・ユニフォーム
- ◆感染コラム：インフルエンザ治療薬
- ◆広報コラム：ヘッドスパ
- ◆委員会の部屋：衛生管理委員会
- ◆倫理コラム：アドバンスド・ケア・プランニング
- ◆こくら庵の暮らし：介護保険サービス



新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

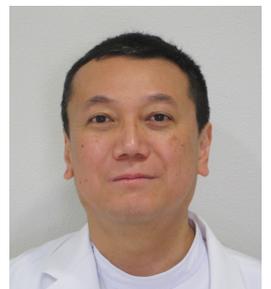
本年もよろしくお願いいたします。

2020年3月に新型コロナウイルスの世界的な流行が起きて、4年近くなりますが、ようやく落ち着き、以前の日常が帰ってきました。

ただこの4年の間で、新型コロナが原因で変わったものの、新型コロナと無関係に変わったものもたくさんあると思います。

私たち長崎腎グループの専門分野である慢性腎臓病の領域でも今までとは異なる作用の治療薬がいろいろ世に出てきました。例えば保存期腎不全に対するSGLT2阻害薬やミネラルコルチコイド受容体拮抗薬ですが、これらは腎機能低下速度を下げる作用があり、その結果透析導入時期を遅らせます。またすでに透析治療を受けている患者さんに対しては、長期透析合併症を減らす効果が期待される新規高リン血症改善薬が承認されました。

そして、今年は我々医療従事者に対しても「働き方改革」が実施されるようになります。このように新型コロナに振り回されている間にも、着実に世の中は変化・進歩していました。



長崎腎クリニック
院長 橋口純一郎



しかし冷静に考えると、医学の進歩も、すべて世の中が平和であってこそその恩恵を受けられます。今年に入り、正月から能登半島で大地震が起こり大災害になっています。

また大地震や津波が起きたら、もし今後新型コロナウイルスが猛毒性に変異したら、もし気候変動で食糧危機が起きたら、もし世界大戦が起きたら、当然働き方改革の話をしている場合ではなくなります。今年も平和な世の中が継続し、社会も個人も進歩する事を願うばかりです。

教えて

先生

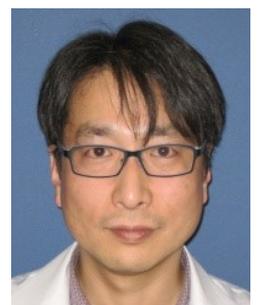
バスキュラーアクセス(VA)について

血液透析を行うには、1分間に200ml前後の血液を透析回路内に循環させる必要があります。血液検査や点滴に用いる体表の静脈を穿刺してもこれだけの量の血液を確保することはできません。そのために必要となるのがVAです。

主なVAは自己の静脈と動脈を吻合(つなぎ合わせる)する内シャントで、これは1966年に考案されています。しかし維持透析は短期間で終了する治療ではないので、長い期間にわたって穿刺を繰り返すこととなります。これにより感染、閉塞などの合併症を起こし使用できなくなることがあります。血管に余裕があれば再度自己静脈を使用した内シャント手術も可能ですが、手術を繰り返すにつれVAに使える自己静脈はなくなってしまいます。また最近では、高齢での血液透析導入や重大な合併症の治療後で初めから使用できる自己血管が乏しい患者さんもいらっしゃいます。このような場合動脈に直接針を刺しやすくする動脈表在化(1970年～)や人工血管使用内シャント(1973年～)が行われます。

こういった手術が行えない患者さんは、カテーテルでの血液透析となります。以前はカテーテル透析の際には、感染予防や自然抜去防止のため入院が必須でしたが、最近ではカフ付きカテーテルが登場し日常生活に支障はあるものの通院でのカテーテル透析もできるようになっています。

先進的な取り組みとしては再生医療の技術を用いて血管を再生しこれを内シャントとして移植することも試みられているようですが、一般に行われるようになるまではまだ時間がかかると思います。



長崎腎病院
血液浄化センター長
澤瀬 健次



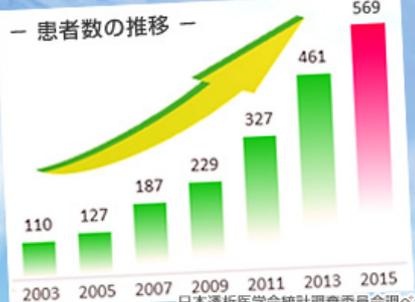


もう一つの選択肢 在宅血液透析

選ばれた方
の声

- ・体調が良くなった
- ・家族と過ごす時間が増えた
- ・仕事の時間がもてた

— 患者数の推移 —



2003 2005 2007 2009 2011 2013 2015
日本透析医学会統計調査委員会調べ

快適に生活するための選択肢を

長崎腎病院
臨床工学課 堀 幸一郎

在宅血液透析(以下:HHD)はライフスタイルに合わせた十分な透析量を確保でき、社会復帰が出来る患者様中心の医療の典型です。しかしながら日本では約750人(0.21%)の患者様しかHHDを行っておらず、我々医療者もその普及啓発に課題があると感じています。

これまで、私が患者様と会話をする中でHHDに対して尻込みしている要因で一番多かった意見は、自分で針を刺さなければならないということでした。確かに他人に刺される注射ですら恐怖と苦痛が伴うのにそれを自分でやるとなると…。しかし、トレーニングを行うことで絶対に刺せるようになります！慣れてくると医療者に刺されるよりも自分で刺す方がマシという患者様も居るくらいです。

一方で、HHDを望んでも残念ながらHHDの適応に当てはまらず断念せざるを得ない患者様も居ます。現在のわが国では、介助者となる家族の存在が必要であり、1人で生活している方は適応から外れてしまうのです。そのような方には、オーバーナイト透析をお勧めします。オーバーナイト透析とは、通常の4時間週3回透析ではなく、8時間週3回透析を行います。しかも病院へ来院し22:00以降から透析を開始する事で睡眠時間に治療を行い、8時間という通常よりも倍の時間をかける事で身体への負担も軽減されます。

オーバーナイト透析は、本院である長崎腎病院でのみ実施していますが、HHDは長崎腎病院・長崎腎クリニック(時津)・大村腎クリニック(大村)の3施設でトレーニングからHHD移行後の管理までを行えます。当院では、患者様のライフスタイルに合った医療の提案・提供を行っております。少しでも興味がある方は是非お気軽にお問い合わせください。



HHDイメージ風景



オーバーナイト透析イメージ風景

こちら

安全管理
チームです！

「職場の心理的安全性」



長崎腎クリニック 看護課 小宮良美

いま、「職場の心理的安全性」が注目を浴びています。心理的安全性が、世界中から注目を集めるようになったのは、Google社が行った生産性向上のための労働改革プロジェクトの成果報告として、「心理的安全性がチームの生産性を高める重要な要素である」と発表したことに端を発しています。

職場で上司や同僚に質問や相談したい時「そんなことも知らないのか」と思われる不安から、質問や相談を躊躇したり、強く叱責されることを恐れ、ミスがあっても報告できずに後々大きなトラブルになってしまうこともあります。

心理的安全性とは

ハーバード大学で組織行動学を研究するエイミー・エドモンドソン教授が1999年に提唱した概念で、「対人関係のリスクを取っても安全だと感じられる職場環境であること、それが心理的安全性」だとしています。

有能なチームには率直に話す風土があって、気軽にミスを報告したり話し合ったりできる。優秀なチームは、ミスの数が多いのではなく、報告する数が多いのだと考え、病院内でも、グループによって心理的安全性に違いがあり、「心理的安全性はグループレベルで存在」することから、心理的安全性はグループリーダーによって作られると述べられています。

心理的安全性がもたらす効果とは

- ・心理的安全性が高まると職場の風通しが良くなることで職場の人間関係の改善も期待でき仕事に集中しやすい環境が維持できる。
- ・メンバーが発言しやすい環境ができるため、チーム内での情報交換が活発化し、ミスの報告をする際のハードルが低くなるため、ミスや問題が生じたときにもすぐに報告・共有ができ、迅速な対応が可能となる。
- ・心理的安全性が高まると、ストレスが減るなどのメンタルヘルスケア面での効果が期待できる。
- ・ストレスが軽減されれば、心に余裕が生まれ、仕事のやりがいを感じやすく仕事への「エンゲージメントの向上」といった効果生まれるとされています。

心理的安全性が高いチームを作るには、お互いの存在を受け入れるだけでなく、尊重しあえる関係性を築くことが 大切で、多様な価値観を認め、お互いの個性の違いを深く理解することが重要であると記されています。

皆さんの職場はいかがですか？風通しのいい環境が作れているでしょうか。

今一度置かれている環境を見直し、よりよい人間関係の構築 ストレスの少ない職場環境を目指してみてください。

TOPICS シン・ユニフォーム！！

今年度順次、シン・ユニフォームへ変更されておりましたが2024年1月11日に最後のシン・ユニフォームへの変更が行われました。デザインや色の組み合わせに、是非ご注目ください！





インフルエンザ治療薬のポイント

長崎腎病院
感染対策チーム
薬剤課 矢野未来

治療薬は3タイプ!

その壹：のみぐすり(オセルタミビル、パロキサビル)

オセルタミビルは通常1日2回 5日間服用ですが

透析患者さんは1カプセルを1回服用のみで治療終了!



その貳：吸入薬(ラニナミビル)

合計4回の吸入を続けて行い治療終了

治療を早く終わりたい方に

吸入をうまく行えない方には不向き

※現在院内採用されておられません



その参：注射薬(ペラミビル)

のみぐすりや吸入薬不可である**入院患者の治療のみ**

※現在院内採用されておられません



お薬はインフルエンザにかかった場合の強い味方ですが、
まずは感染しないよう手指消毒、マスクで予防対策を!

「ヘッドスパで髪も頭も癒され、心の栄養に」

休日の午後、通い慣れたサロンで大きな椅子にゆったりと体を預けます。やがて心地よさが頭から全身に伝わり、うとうとと眠ってしまう、これが今、夢中になっているストレス解消法のヘッドスパです。

数年前、髪にボリュームがなくなってきたなあと気になっていて、でも年齢のせいもあるだろうし仕方がないとあきらめていた時、通っている美容室でヘッドスパをやっていると知り、興味本位で試してみたのがきっかけでした。髪と頭皮ケアで贅沢だとは思いましたが一度だけのつもりで施行してもらったのです。

それが本当に気持ちよく、頭皮マッサージをしてもらっているのと心が溶けるような感じで眠ってしまいました。静かに流れる音楽とほのかに甘く爽やかな香りに包まれる時間は夢のようで、あっという間に過ぎていったのです。

終わった後は髪がツヤツヤして、頭皮も柔らかくなっているのが自分でも分かるほどで、初めて体験した時は頭だけではなく、全身スツキリしました。

その二回ですっかりヘッドスパに魅了された私は、年に数回通っていて、最近では頭皮も髪も以前よりは健康になった気がしていますが、独りよがりかな?

施術を受けると眠ってしまうので、いいお昼寝タイムにもなっていて、疲れも吹き飛びます。髪と心と体の健康に、これからも続けていきたいと思っています。



こんにちは、衛生管理委員会です。私たちは労働者の安全と健康を保護し、働く環境を向上させることを使命として、様々な活動を展開しています。この広報紙では、我々の活動と目標について詳しくお伝えします。

まず、私たちの主な使命は、労働者が安全かつ健康的な環境で働けるようにすることです。労働現場での事故や健康被害を最小限に抑え、職場環境を改善するために、定期的な監査や助言を行っています。これにより、労働者と企業の双方が安心して働ける環境への貢献を目指しています。

私たちは、労働衛生管理委員会として、労働者の安全と健康を守るためにさまざまな取り組みを行っています。その中でも、特に重要視しているのが「職員検診」です。職員検診は、労働者一人ひとりの健康状態を確認し、予防医療や早期発見を促進するための重要な手段となっています。

まず第一に、職員検診は個々の労働者が健康であることを保障する重要なステップです。健康な労働者は、仕事においてもパフォーマンスを発揮しやすく、職場全体の生産性向上に寄与します。そのため、職員検診を通じて、潜在的な健康リスクを早期に発見し、必要なケアや対応を行うことで、労働者の健康を維持し、働きやすい環境を整えています。

さらに、職員検診は予防医療の観点からも非常に有益です。定期的な健康チェックを通じて、慢性疾患や病気の早期発見が可能となります。これにより、労働者は早期に治療を受け、悪化を防ぎ、健康な状態を保つことが期待できます。また、労働者が自身の健康に対する意識を高め、健康増進に積極的に取り組む契機ともなります。

当委員会では、職員検診の重要性を広く周知し、企業や労働者に対して積極的な参加を促しています。検診の結果は個々のプライバシーを尊重し、機密保持を徹底しています。また、検診結果を基に、必要な場合は医療機関と連携し、適切なフォローアップを提供しています。

職員検診は、健康な職場環境の確立と労働者の生活の質向上に直結しています。労働者の皆様には、是非とも積極的に検診への参加をご検討いただき、健康を守りながら働くことの重要性を共に実感していただければ幸いです。どうぞ、お身体の健康管理にご協力いただき、安全で健康な職場環境の実現に向けて共に歩んでまいりましょう。



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の定義は、「将来の意思決定能力の低下に備えて、患者様やそのご家族とケア全体の具体的な治療・療養について話し合う過程(プロセス)」とされています。簡単に言うと『もしもの時のための、話し合い』です。

『もしもの時』に、自分がどんな治療を受けたいか、または受けたくないか、そして自分という一人の人間が大切にしていること(価値観)などを、自分自身で考えたり、家族や大切な人たちと話し合うことは重要なことです。

近年の高齢化社会の中、人生の終わりにどのような医療・ケアを受けて最後を迎えるか計画して、自分の考えを家族や近い人に表しておく取り組み、ACP(アドバンスケアプランニング)という概念が2018年、厚生労働省ガイドラインに加えられました。

当院では、事前指示書という形で、意思表示をしていただくように運用しています。ご家族と十分話し合うきっかけになればと思います。



家族で
人生会議しませんか？！



厚生労働省より「人生会議」について、より多くの方に知っていただくため短い動画が出されています。お時間がある時に見てみて下さい。

●アニメーション1「大切にしていることを信頼できる人へ話そう編」

<http://youtu.be/TJVORbhmW-A?si=qhlmSYMxqXBBkODw>

●アニメーション2「こんな私のストーリー編」

http://youtu.be/N7wm5TQwdtE?si=VTkYel2BHqY0_zfm

特別養護老人ホームこくら庵
こくら庵の暮らし

介護保険サービス

～地域密着型サービスとは？！～

岩屋ユニット
小森優也

介護保険で受けられるサービスの中から、今回は地域密着型サービスについてご紹介します。

地域密着型サービスとは、認知症高齢者や介護度の高い高齢者が**住み慣れた地域で暮らし続けて行けるような環境づくりを行うことを目的**としています。市町村が指定した事業者は地域住民に対して幅広く以下の介護サービスを提供しています。

- 【通所サービス】①地域密着型通所介護 ②認知症対応型通所介護
【訪問サービス】③定期巡回・臨時対応型訪問介護 ④夜間対応型訪問介護
【複合サービス】⑤小規模多機能型居宅介護 ⑥看護小規模多機能型居宅介護
【施設サービス】⑦認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

⑧地域密着型特定施設入所者生活介護

⑨地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

こくら庵は施設サービスの中の⑨に該当し、定員30人未満の特別養護老人ホームになります。

上記、①～⑨の介護サービスを受けるためには、以下の条件を満たす必要があります。

サービス事業者のある市町村に住民票がある方

65歳以上(40～64歳で特定疾病により要介護を受けている方も含みます)

要介護認定を受けている方(介護度により利用できるサービスが異なります)

*尚、要支援の方が利用できる地域密着型サービスもありますので、利用されたい方はケアマネージャーにご相談下さい！



地域連携室より ご案内

理念：衆和会は、透析医療を中心とした24時間対応の腎疾患専門施設として、地域社会に貢献します。

基本方針：1. 自己研鑽により、透析技術の飽くなき追求に努める。

2. 患者の権利を守り、機能的なチーム医療を提供する。

3. 地域の医療・福祉と連携し、入院を必要とする患者の受け皿となる。

外来診療医師		月	火	水	木	金
長崎腎病院 -診療科目- 内科・腎臓内科 泌尿器科	AM 9:00-12:00	上野医師	岩田医師 伊達医師 澤瀬医師 (泌尿器科)	舩越医師 岩田医師 西野医師	上野医師	伊達医師 澤瀬医師 (泌尿器科)
	PM 15:00-17:00		岩田医師 伊達医師	舩越医師 岩田医師		伊達医師
長崎腎クリニック -診療科目- 内科・腎臓内科	AM 9:00-12:00	橋口医師 河津医師	橋口医師	橋口医師 河津医師	橋口医師	橋口医師 河津医師
	PM 15:00-18:00		休診		休診	
大村腎クリニック -診療科目- 内科・腎臓内科	AM 9:00-12:00	前川医師 中村医師	前川医師 中村医師	前川医師 中村医師	前川医師 中村医師	前川医師 中村医師
	PM 15:00-18:00		休診		休診	

Nagasaki Kidney Group

医療法人衆和会 長崎腎病院

TEL. 095-824-1101

FAX. 095-824-1181



〒850-0032 長崎市興善町5-1



医療法人衆和会 長崎腎クリニック

TEL. 095-813-2777

FAX. 095-813-2888



〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷272-14



医療法人衆和会 大村腎クリニック

TEL. 0957-54-1113

FAX. 0957-54-1114



〒856-0826 大村市東三城町7-12

